

シンポジウム

日本の食 コメの話

～生産・消費を魅せる～

地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（J-PEAKS）（大阪公立大学）

2025年2月27日(木)13:30～17:00

昨年はコメ不足が叫ばれたり、農産物の価格高騰がおきたりと私たちの生活に農業が大きく影響を及ぼしていることが浮き彫りとなった。世界的にも異常気象、国家間の紛争などによって食料安全保障が問題となっている。農業の高齢化、担い手の減少は大きな社会的課題である。これらを解決する一助として、都市部も含めた新規就農者の増加に向けた仕組み作りが求められる。市民の中で農業が「ジブンゴト」になり、都市でも農業に関する「担い手」を育成することは喫緊の課題である。多様なステークホルダーが農業の新しい未来を考えるため、日本人に身近なコメを題材に取り上げたシンポジウムを実施する。

開催

ハイブリッド形式 参加費無料
(会場参加50名, YouTubeオンライン配信)

会場

グランフロント大阪 都市活力研究所セミナールーム
大阪市北区大深町3番1号 グランフロント大阪タワーC7階

申込

専用申込フォーム・QRコードよりお申し込みください

<https://forms.gle/R3nJtS5sSowx3h8M8>



お申込QRコード

プログラム

徳本 修一 (農業法人トゥリーアンドノーフ株式会社)

「世界から見た日本のコメ作りの可能性」

小笠原 渉 (長岡技術科学大学 技術科学イノベーション系)

「日本にとっての「田んぼ」とは何か?～再考～」

増村 威宏 (京都府立大学/未来食研究開発センター株式会社)

「矮性イネを用いた屋内稲作の試み」

パネルディスカッション「10年後の農業の担い手」

講演者 及び 溝淵 直樹 (大阪府環境農林水産部農政室推進課 課長)

主催

大阪公立大学

共催

関西イノベーションイニシアティブ

お問合せ先：大阪公立大学 食のミカタ事務局
gr-agri-mikata@omu.ac.jp